

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

協力隊として戻ったからこそ 見える、笠間の栗の魅力



すだ みく 須田 美来 隊員 28歳 埼玉県から移住



栗の生産者への聞き取り



視察研修での園場見学



笠間の栗むき手マイスター養成講座

協力隊の日々の活動をSNSで発信中！



フェイスブック



インスタグラム

問 企業誘致・移住推進課（内線595）

前回の広報紙では触れませんでしたでしたが、私は笠間市の出身です。大学進学を機に地元を離れていましたが、この春、地域おこし協力隊として笠間に戻ってきました。

活動を始めてから約4か月が経ち、地域おこし協力隊として戻ってきたからこそ見える笠間の魅力が多くあると感じています。その中でも、特に印象に残っているのが「笠間の栗」です。

私にとって栗とは、幼い頃から変わらない風景の一部でしたが、2020年頃から出身地を伝えると「栗で有名な所だよね」と言われることが増え、県外の方々の間で「笠間＝栗」というイメージが広がっていることを知りました。昔からある栗畑の風景は変わらないのに、なぜ栗が有名になったのか、疑問を持ったのを覚えています。

私は現在、笠間市役所農政課に所属して活動しています。これまでに、栗の生産者への聞き取りや「儲かる笠間の栗産地づくり協議会」での視察研修などへの参加を通じて、「笠間の栗」というブランドが多くの人々の献身によって作られていることを知りました。

協議会では、毎年大盛況のかさま新栗まつりの企画・運営、県外イベントなどへの出店を行い、笠間の栗の知名度向上を図るとともに、市内の飲食店では笠間の栗を使った商品開発に積極的に取り組んでいます。また、生産者の方々は品種別収穫や丁寧な選果作業、創意工夫を凝らした栽培管理を行い品質の良い栗の生産に努めるとともに、JA常陸笠間地区栗部会は技術

支援や出荷体制の整備を行い、栗の品質の維持に努めています。協力隊の活動を通して、こうした立場の異なる多くの方々为一体となり、「笠間の栗を発展させたい」という思いを共有している姿に触れたことで、地域全体で育てているブランドであることを強く実感しました。また、それこそが笠間の栗の魅力のひとつではないかと感じています。

今月から本格的な栗の収穫時期を迎えます。栗拾いや選別、栗むき、栗料理などにも挑戦し、笠間の栗の魅力をさらに深く知っていきたくて！皆さんも、今年の秋は多くの人の思いが詰まった笠間の栗に触れ、ふるさとの魅力を感じてみてください。